

令和5年度

# 事業報告書

小松市矢崎町ナ 129 番地 1

社会福祉法人大和善隣館

## 令和5年度 社会福祉法人大和善隣館『事業報告』

令和5年度における事業報告は、次の通りである。

### 【1】法人役員構成等

#### 1. 役員構成

理事長 広川 保

評議員 定数7名以上12名以内 (令和6年3月31日現在10名)

理事 定数6名以上10名以内(理事長・常務理事含) (令和6年3月31日現在7名)

監事 定数2名以上 (令和6年3月31日現在4名)

#### 2. 評議員会開催

開催年月日	出席数	議 決
令和5年4月26日 開会:14時15分 閉会:14時45分	評議員6名 理事8名 監事3名	議案第8号 能美市民間幼保連携型認定こども園優先交渉権者に対する応募について
令和5年6月15日 開会:17時00分 閉会:18時30分	評議員9名 理事9名 監事4名	議案第9号 令和4年度事業報告 ・計算書類・財産目録の承認・監事監査報告・社会福祉充実残額 議案第10号 令和5年度資金収支補正予算について 議案第11号 理事の選任について 議案第12号 監事の選任について
令和5年11月9日 開会:15時00分 閉会:15時55分	評議員7名 理事8名 監事2名	議案第13号 定款の一部変更について 議案第14号 令和5年度資金収支補正予算について 議案第15号 小松市立蓮代寺子育てセンター指定管理者への応募について 議案第16号 顧問の承認について
令和6年3月21日 開会:15時00分 閉会:16時50分	評議員8名 理事7名 監事4名	議案第1号 定款の一部変更について 議案第2号 令和5年度資金収支補正予算について 議案第3号 令和6年度事業計画について 議案第4号 令和6年度資金収支予算について 議案第5号 令和5年度資金収支補正予算について 議案第6号 理事の選任について 「その他」・能美市SDGs申請

#### 3. 理事会開催

開催年月日	出席数	議 決
令和5年4月11日 書面決議	理事9名 監事4名	議案第10号 評議員会の招集について
令和5年4月26日 開会:13時25分 閉会:13時55分	理事8名 監事3名	議案第11号 能美市民間幼保連携型認定こども園優先交渉権者に対する応募について
令和5年6月1日 開会:14時00分 閉会:15時30分	理事8名 監事4名	議案第12号 諸規程の一部変更について 議案第13号 令和4年度事業報告 ・計算書類・財産目録の承認・監事監査報告・社会福祉充実残額評

		議案第 14 号 令和 5 年度資金収支補正予算について 議案第 15 号 役員等候補者の推薦について 議案第 16 号 評議員会の招集について
令和 5 年 6 月 15 日 開会:18 時 30 分 閉会:18 時 45 分	理事 8 名 監事 4 名	議案第 17 号 理事長及び常務理事の選定について
令和 5 年 10 月 16 日 書面決議	理事 8 名 監事 4 名	議案第 18 号 評議員会の招集について 「その他」 ・理事長の執行状況報告
令和 5 年 11 月 9 日 開会:14 時 00 分 閉会:14 時 55 分	理事 8 名 監事 2 名	議案第 19 号 諸規程の一部変更について 議案第 20 号 施設長の選任について 議案第 21 号 顧問の推薦について 議案第 22 号 定款の一部変更について 議案第 23 号 令和 5 年度資金収支補正予算について 議案第 24 号 小松市立蓮代寺子育てセンター指定管理者への応募について
令和 6 年 1 月 17 日 書面決議	理事 8 名 監事 4 名	議案第 1 号 評議員会の開催について 議案第 2 号 評議員選任候補者の推薦について 「その他」 ・理事長の執行状況報告
令和 6 年 3 月 21 日 開会:13 時 00 分 閉会:14 時 50 分	理事 7 名 監事 4 名	議案第 3 号 諸規程の一部変更について 議案第 4 号 福祉サービス苦情解決第三者委員の選任について 議案第 5 号 施設長の選任について 議案第 6 号 役員等候補者の推薦について 議案第 7 号 定款の一部変更について 議案第 8 号 令和 5 年度資金収支補正予算について 議案第 9 号 令和 6 年度事業計画について 議案第 10 号 令和 6 年度資金収支予算について 議案第 11 号 令和 6 年度資金収支補正予算について 「その他」 ・能美市 SDGs 申請

#### 4. 評議員選任解任委員会開催

開催年月日	出席数	議決
令和 6 年 2 月 29 日 開会:13 時 50 分 閉会:14 時 05 分	委員 6 名	評議員の選任

#### 5. 法人監査

開催年月日	出席数	指摘事項
令和 5 年 5 月 15 日 ～17 日 開会:10 時 00 分 閉会:12 時 00 分	監事 4 名	指摘事項なし

## 【2】法人本部事務局

「法人名称変更」及び「法人所在地移転」の転換期から 3 年が経過し、新たな地でこれまで以上に地域・地元に親しまれる存在になれるよう努め、社会に貢献する法人として未来永劫存続するよう最善を尽くす。

令和 5 年度の主な報告事項として、「湯野保育園民営化事業」が挙げられる。以前より県内自治体の動向を注視し他市への事業展開のため、法人及び職員の地力を蓄えてきた。そんな折、能美市にて民営化施設の優先交渉権者募集(能美市立「湯野保育園」及び「緑が丘保育園」)があり、慎重に検討を重ねた結果「湯野保育園」に絞り申請を行った。選定会を経て優先交渉権者に選ばれ、その後の話し合いも重ねた後、移管先法人に決定した。運営開始日は令和 6 年 4 月 1 日からとなり、能美市からのスムーズな事業継承を行い、最大限の努力を惜しまずに事業運営に努めていきたい。

自然災害等の緊急事態に遭遇した場合に備えた BCP「事業継続計画」を策定し、今年度より運用を開始した。運用初年度ということもあり課題は多々あるが、実際に遭遇した時の想定も働かせ、適宜内容等の更新を実施する。令和 4 年 8 月には小松市にて豪雨災害により甚大な被害を受け、令和 6 年 1 月 1 日には「能登半島地震」に見舞われ自然災害も他人ごとではなく、身近な存在と感じられるようになってきている。災害発生状況(災害種類)に応じて、小・中学校等、こども園よりも高い建物へ避難することや、その場に留まる方が安全な場合もあるので、あらゆるシチュエーションを考慮し、日常の避難訓練等の重要性も再認識しつつ、園児及び職員の安全を最優先と捉えた運営に努めていきたい。

新型コロナウイルス流行より丸 4 年が経過し、感染症法上の位置付けが 2 類相当から 5 類へ移行した。但し、移行したからといってコロナウイルスが無くなったわけではない。これまで同様、基本的な感染予防対策を取りながら共生していかなければならない。人流等もコロナ禍前の日常に戻りつつあり、これから先、本当の終息に向かうことを願う。

令和6年度は法人創立 80 周年を迎える。併せて能美市にて新たに「湯野こども園」の運営をスタートすることから、次年度に希望のバトンを繋ぐ 1 年となった。

### 1. 施設一覧表

施設名	利用定員及び児童(講座生)数	開設年月日 ( )は保育所開設	住所
幼保連携型認定こども園 大和こども園 施設長:池田 巧	225 名	平成 27 年 4 月 1 日 (昭和 19 年 6 月 15 日)	小松市大和町 102 番地
大和こども園分園やざぎ乳児保育園 施設長:池田 巧(本園兼務)	20 名	令和 3 年 4 月 1 日	小松市矢崎町ナ 129 番地 1
幼保連携型認定こども園 松陽こども園 施設長:森 都	155 名	平成 27 年 4 月 1 日 (平成 17 年 4 月 1 日)	小松市大領中町 1 丁目 171 番地
幼保連携型認定こども園 月津こども園 施設長:荒井 早苗	125 名	平成 27 年 4 月 1 日 (平成 24 年 4 月 1 日)	小松市月津町め 57 番地
幼保連携型認定こども園 中海こども園 施設長:片桐 真二	75 名	平成 30 年 4 月 1 日	小松市軽海町ノ 16 番地 4
幼保連携型認定こども園 蓮代寺こども園 施設長:堂前 弘美	95 名	平成 30 年 4 月 1 日	小松市蓮代寺町に 173 番地
芦城児童クラブ 1 施設長:田中 琴乃	45 名	平成 17 年 4 月 1 日	小松市西町 25 番地
芦城児童クラブ 2 施設長:田中 琴乃	45 名	平成 22 年 4 月 1 日	小松市西町 25 番地
蓮代寺児童クラブ	25 名	平成 31 年 4 月 1 日	小松市蓮代寺町ハ丙 16 番地
大和ぬくもり大学 学長:朝岡 明美 施設長:広川 保	500 名	平成 4 年 7 月 1 日	小松市相生町 11 番地
本部事務局			小松市矢崎町ナ 129 番地 1

## 2.主な取り組み

### ①「湯野こども園民営化」

今年度春に能美市にて民営化施設の優先交渉権者募集(能美市立「湯野保育園」及び「緑が丘保育園」)があり、慎重な検討・協議を重ね、「湯野保育園」に絞り申請。選定会を経て優先交渉権者に選ばれ、その後移管先法人に決定。令和6年4月1日からのスムーズな開園に向け能美市とも協議等を行い、保護者との顔合わせ(法人説明等)も実施し、移管の準備を進めてきた。能美市からの事業承継を行い、子どもたちはもちろんのこと、保護者や地元地域より「大和善隣館が湯野地域にきて良かった」と言われるように、最大限の努力を惜しまずに、事業運営に努めるもの。※令和6年4月1日より幼保連携型認定こども園に移行

### ②BCP「事業継続計画」の見直し(本部及び各施設にて実施)

児童福祉施設での運用は令和5年4月より努力義務となっていたが、目的の周知と実効性があるものとするため、2年がかりで計画を策定し令和5年3月に運用を開始した。策定後1年が経過し、情報更新や課題等があり見直しを図ってきた。令和6年1月1日に発生した「能登半島地震」により「事業継続計画」の重要性を痛感した。今までも非常災害時を考え事業を行ってきたが、再度、備蓄品の確認や保険契約内容の見直し、避難訓練等、いつ発災するかわからないからこそ、尚更臨機応変に対応できるよう訓練していかねばならない。

### ③職員採用

昨年度同様、自法人のYouTubeチャンネルを活用した動画作成を行い、将来保育者を志す学生等に興味を持ってもらうよう活動に取り組んだ。来年度以降も積極的に動画配信等を行い、法人や運営施設をより知ってもらえるよう努める。

### ④奨学金貸与事業

利用実績はなかった。給付型奨学金制度創設や行政による奨学金も充実してきたが、法人独自の制度なので、引続き継続広報を行っていきたい。

### ⑤法人バス運行について

#### ・送迎用バス安全装置設置

送迎時や園外保育時におけるこどもの置き去りを防止対策として、安全装置設置が義務化され、当法人においても所有する全ての送迎用バスについて安全装置を設置し、子どもたちの更なる安全確保に万全を期する。

#### ・大型バス車両配置効率化

大型バスの遊休時間が多く、保有するだけでも車検等の維持費負担もあることから、5台保有していた大型バスを3台へと削減した。今後は距離の近い施設同士で共有し、効率良く運用していく。

※送迎用の小型バスは引続き各施設1台配置。(湯野こども園・やざき乳児保育園除く)

3.職員の配置(事務所並びに施設)

令和6年3月31日現在在籍者数

	大 こども園	和 松 こども園		陽 月 こども園		津 中 こども園		海 蓮 こども園		代 寺 こども園		や ざ き 乳児保育園		芦 城 児童クラブ		蓮 代 寺 児童クラブ		大 和 善 隣 館 本 部		大 和 ぬ く も り 大 学		計																
		正 規	非 正 規	正 規	非 正 規	正 規	非 正 規	正 規	非 正 規	正 規	非 正 規	正 規	非 正 規	正 規	非 正 規	正 規	非 正 規	正 規	非 正 規	正 規	非 正 規																	
事務局長 園長・所長等		1		1		1		1		1		1						1				1	6															
学長																						1	1															
副園長		1						1															3															
教頭			1		1				1														3															
主幹・主任	1				1		1	1	1					1		1							7															
副主幹																							0															
主査			1								1												2															
主査補	3		3		2		1		1		1												11															
担当	9	7	13	5	8	1	10	6	3	1	10	3	3	8	5	3	1	14	1	2	5	1	4	1	3	4		131										
派遣						1		1																2														
衛生管理																								2														
養護教諭 看護師・保健師			1		1	2	1		1	1													8															
准看護師	1																						3															
派遣																							0															
給食																							1															
栄養教諭																							1															
管理栄養士	1																						1															
栄養士	1	1	1	2	1	1		1	1					1									10															
調理師	1			1			2	1		1	1			3	1								11															
職員・事務員																							1															
代理																							0															
係長																							0															
主事																							0															
主事補																							0															
担当	1		1		1		1														1	1	6															
その他																							33															
保育補助			11		5		5		5		5		2										4															
通訳(派遣含)			3		1																		3															
運転士			1		1						1												3															
駐車場誘導員			1																				1															
講師																							13															
小計	18	8	3	30	13	11	2	20	13	3	2	20	8	4	3	16	10	3	2	24	5	2	1	9	2	0	4	2	0	3	0	1	4	3	0	0	1	14
合計		59		46		38		31		39		17		11		5		3		15			264															

産業医			1		1																		2
学校医	内科/小児科医		1		1		1		1		1		1										6
歯科医			2		1		1		1		1		1										7
薬剤師			1		1		1		1		1		1										6

### 【3】施設関係

#### 1. 幼保連携型認定こども園 大和こども園の経営

昭和 23 年 11 月 1 日児童福祉法により認可(平成 23 年度より定員 280 名)

平成 27 年 4 月 1 日幼保連携型認定こども園に移行し、定員は 275 名。翌年、大和保育園から「大和こども園」に名称を変更。

令和 4 年 4 月 1 日定員 240 名に減員。(1 号 15 名, 2 号 120 名, 3 号 105 名)

##### (1) 事業実績の概要

###### ●主たる整備事業

特になし

###### ●教育及び保育事業

めざす子ども像を新たに「夢中になって遊び込める子」とし、法人の保育の基本方針(三つのゼン)を踏まえ、教育・保育課程運用の視点を安全(安心・信頼)、自然(関わりたくなる環境づくり)、積善(自信・自己肯定感の育成)として保育を展開した。めざす子ども像により、日々の保育や行事への取り組みの方向性が明確になり、子どもの主体性を生かした保育に臨むことができた。園内の研修では、金城大学短期大学部和泉客員教授を招聘した。招聘した回数は限られたものの、園内での公開保育等に指導・助言をいただいたことにより、OJT と兼ねることができた。また、県内 2 施設のこども園に職員を派遣することで、異年齢保育等他園の取り組みのよさを知り、保育の改善につなげることができた。

障がいや発達上の課題のある園児への支援では、特別支援教育アドバイザーを配置した。このことで、加配園児の保護者との継続的な面談を通して、保護者と「ねらい」や具体的な指導法について共有でき、家庭と連携した中で育ちを支えることができた。また、園児への具体的な関わり方や環境構成の工夫について話し合うことで、個への理解につなげることができた。さらに、小松市発達支援センター等外部機関との連絡調整も円滑に行うことができ、関係機関と連携を図ることができた。

###### ●子育て支援事業

未就園親子を対象とした地域子育て支援事業は、分園となる「やざき乳児保育園」で実施した。子育てに関する相談窓口は、ホームページ上に開設し、相談に応じられるようにした。また、地域に発信する情報誌「ぼかぼか大和」は、掲示及びホームページを通し、園の様子を伝えられるようにした。

###### ●その他

新型コロナウイルス感染症が 5 類に引き下げられたことから、段階的に行事や園内への立ち入りを見直し、コロナ禍前の対応に戻した。不適切保育など全国的に保育現場に関心が向けられた 1 年であった。本園でも大きな事故に繋がりがかねない事案もあり、「人権の尊重」「安心・安全」について徹底を図った。

##### (2) 月別在園児童数

大和		定員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
3号認定	0歳児	30	4	5	6	9	10	15	17	18	19	20	20	20	163
	1歳児	35	30	30	29	30	30	30	30	31	31	31	31	31	364
	2歳児	40	31	31	31	31	31	31	31	31	30	30	30	30	367
2号認定	3歳児	35	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	31	31	382
	4歳児	35	37	37	37	37	37	37	37	37	37	37	37	37	444
	5歳児	35	34	34	34	34	34	34	34	34	34	34	34	34	408
1号認定	満3歳児	15	0	0	0	0	0	2	2	2	2	2	2	2	14
	3歳児		7	7	7	7	7	6	6	6	6	6	6	6	77
	4歳児		5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
	5歳児		3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36
		225	183	184	184	188	189	195	197	198	199	200	199	199	2,315

##### (3) 特別保育事業実績数

事業(件数)	休日保育	病児(体調不良児)保育	地域子育て支援	延長保育	一時預かり	災害特例型
令和 4 年度	201(法人計)	47	分園で実施	2,515	28	
令和 5 年度	206(法人計)	194	分園で実施	2,197	106	40

## 2.幼保連携型認定こども園 松陽こども園の経営

昭和 29 年 4 月 1 日・定員 80 名の認可を受け開設。

平成 17 年 4 月 1 日・より小松市より受託経営開始。

平成 18 年 4 月 1 日・定員 140 名で直接経営開始(平成 25 年度より定員 170 名)

平成 27 年 4 月 1 日・幼保連携型認定こども園に移行し、定員は 170 名(内訳は 1 号 15 名/2 号 80 名/3 号 75 名)

平成 28 年 4 月 1 日・施設名称を「松陽保育園」から「松陽こども園」に変更

令和 4 年 4 月 1 日・利用定員を 155 名に変更(1 号 15 名, 2 号 80 名, 3 号 60 名)

### (1)事業実績の概要

○松陽こども園は「心身ともに健やかな元気な子ども」を教育保育の目標として、子どもたちが安心感と信頼感をもって自発的、主体的に活動に取り組めるより良い環境作りを第一に考え、生きる力の基礎を育てていく保育を進めてきた。特に幼児期においては自然の大きさ、美しさ、不思議さなどに直接触れる体験を通して、子どもの心が安らぎ、豊かな感情や好奇心、思考力、表現力の基礎が培われ自然との関わりを深めることができるように努めた。

10 月には園のシンボルでもある岩山「わんぱく山」を中心に木製の大型遊具を接続させ周辺には大小の築山、様々な木々や草花を植え子どもたちの好奇心を刺激し、主体的で活発な遊びへと導く環境へと生まれ変わった。

○令和 4～5 年度は「プロジェクト型保育」を園全体で取り入れることにした。子どもたち同士が一つの事を深く探求し、協同的な活動が深まるようにと以上児組でテーマに添った保育に取り組み、子どもたちの「共同的な学び」につながるよう、みんなで見守り支える保育の実現に向け全職員で取り組んだ。また、行事に関しては参加人数の制限や時間を短縮し、保育参観、運動会、発表会、クラス懇談会等を年齢別に数日に分けて開催したり、当日までの子どもたちが取り組む様子を動画配信や、写真つきのエピソード記録「ドキュメンテーション」を定期的に配信しながら保護者とつながりが持てるよう、保育の見える化を図り保育の質の向上につなげる。

また令和 6 年度小松市教育・保育研究発表に向け、金城大学短期大学部和泉美智枝客員教授の指導の下、職員研修を重ねてきた。

○発達上課題のある子どもに対して小松市発達支援センターの職員の訪問を要請し、支援会議から理解の深まりと具体的な支援の明確化を図り個別の支援につなげた。また、外国籍の子どもに対しては通訳を配置し園での生活のサポートの他、保護者と園との連絡調整に努め、安心して園での生活を送れるようにした。

○子育て支援では未就園児親子を対象とし、週 3 日午前 2 時間実施。育児の相談やアドバイス、母親同士が情報交換をしながら安心してくつろげる居場所の提供をする。

### (2)月別在園児童数

松陽		利用定員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
3号 認定	0歳児	20	2	2	3	6	9	10	12	14	15	16	17	18	124
	1歳児	20	27	26	26	25	25	25	26	26	26	25	26	26	309
	2歳児	20	29	28	28	28	28	29	28	28	28	28	28	28	338
2号 認定	3歳児	25	25	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	311
	4歳児	25	15	15	15	15	16	15	16	16	17	17	17	17	191
	5歳児	30	22	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	253
1号 認定	満3歳児	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	11
	3歳児	5	6	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	61
	4歳児	5	5	6	6	6	6	6	6	6	5	5	5	5	67
	5歳児	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
		155	136	135	136	138	142	143	146	148	149	149	151	152	1,725

### (3)特別保育事業実績数

事業(件数)	体調不良児保育	子育て支援「園開放」	延長保育	一時預かり	災害特例型
令和 4 年度	94	368 組	519	34	0
令和 5 年度	45	881 組	1178	103	25



### 3.幼保連携型認定こども園 月津こども園の経営

平成 24 年 4 月 1 日・小松市立保育所民営化事業を受け直接経営開始(定員 120 名)

平成 26 年 4 月 1 日・施設の名称を「月津保育所」から「月津保育園」に変更するとともに、定員 130 名に増員

平成 27 年 4 月 1 日・幼保連携型認定こども園に移行し、定員は 140 名(内訳は 1 号 10 名/2 号 70 名/3 号 60 名)に増員

平成 28 年 4 月 1 日・施設の名称を「月津保育園」から「月津こども園」に名称変更

平成 29 年 4 月 1 日・定員を 145 名(内訳は 1 号 10 名/2 号 70 名/3 号 65 名)に増員

平成 30 年 4 月 1 日・利用定員(1 号 15 名/2 号 70 名/3 号 60 名)の変更

令和 4 年 4 月 1 日・利用定員を 135 名に変更(1 号 15 名/2 号 65 名/3 号 55 名)

令和 5 年 4 月 1 日・利用定員を 125 名に変更(1 号 15 名/2 号 55 名/3 号 55 名)

#### (1)事業実績の概要

自園での公開保育・カンファレンスを繰り返し、子ども一人一人の主体性を尊重した教育・保育に取り組み 3 年目となり、職員が同じ方向に向かいつつある。保護者に対しても教育・保育の可視化を図りながら次第に理解してもらっている。乳児クラスは受容的で応答的に関わる保育を心がけ、保育室の環境を工夫したり、近辺への散歩などを通して健康な体づくりに取り組んできた。さらに信頼関係の構築により保育者や他児との関わりが広がり、対話へとつながってきている。サークルタイム(輪になって保育者も一緒に子どもと話をする場)により、年齢ごとの育ちのもと、5 歳児では、友達の話を聞くことが出来るようになったり、自分の思いをみんなの前で話すことが出来るようになったりしている。対話をする大切さを重視し取り組んでいるが、保育者にとっては子どもと真剣に向き合う大変さや教育・保育の中でのいろいろな課題に職員同士で話し合い進めてきた。

今年度は 5 歳児の活動として実体験を重視してきた。春は、中海地区の自然に触れ、自然の中でいろいろなことを学んだ。夏は、夏祭りに向けて曳山を見学に行き、曳山を参考にしながら自分たちで御神輿づくりに取り組んだ。秋は、電車に乗って小松駅を散策したり、郵便局の見学に行ったり JA あぐりへ出かけ買い物の経験をしたりして多くの学びを得た。

また、老朽化した園庭遊具の撤去により安全面が確保され、広い園庭でのサッカーやドッジボール等、子どもたちの体力作りとなる活動をより多く行うことができた。さらに補助金を活用して安全な遊具も設置することができた。

食育においては 0 歳より食育活動を行ってきた。5 歳児においては、小学校を見据えて配膳当番も取り入れてきた。また 6 年度は、空き部屋があるため、ランチルームとして活用していく予定である。看護師による保健活動も保育者と連携し、内容を検討しながら子どもたちによりわかりやすい実践を行ってきた。また、職員の健康管理も常に努めてきた。

地域との連携においては、主任児童委員、月津校下防災士会との連携をとり、様々な面で協力を得ることが出来た。町内会長、民生委員を招いて 1 月に開催した地域との交流会では月津こども園を知っていただくよい機会となった。また、保護者支援の一環として子育て講座も開くことができた。感染症の対策をとりながら今後も保護者、地域との連携を続けていく。また、1 月の能登半島地震を受け、子どもの命を守るためにはどうしたらよいかを職員間で何度も話し合い防災に対する保育者の意識、園内環境の見直しを行ってきた。

#### (2)月別在園児童数

月津		利用定員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
3号 認定	0歳児	15	3	3	3	4	6	7	8	8	7	9	10	13	81
	1歳児	20	22	22	22	22	22	22	22	21	21	21	21	21	259
	2歳児	20	16	16	15	15	16	14	14	14	14	14	14	14	176
2号 認定	3歳児	15	16	16	16	16	17	17	17	17	17	17	17	17	200
	4歳児	25	14	14	14	14	14	15	15	15	15	15	15	15	175
	5歳児	25	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	288
1号 認定	満3歳児	0	0	0	1	1	1	3	3	3	3	3	3	3	24
	3歳児	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
	4歳児	5	3	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2	2	31
	5歳児	5	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	84
		135	110	110	110	111	115	117	118	116	115	117	118	121	1,378

(3) 特別保育事業実績数

事業(件数)	体調不良児 保育	子育て支援 「園開放」	延長保育	一時預かり		
				一時預かり	在宅育児	災害特例
令和4年度	107	27組	423	40	13	0
令和5年度	64	91	239	36	21	32

#### 4. 幼保連携型認定こども園 中海こども園の経営

平成30年4月1日・小松市立保育所民営化事業を受け直接経営開始(定員105名)

幼保連携型認定こども園に移行(1号4名/2号62名/3号39名)、施設名称を「中海こども園」とする

平成31年3月19日・新園舎完成(同年4月20日、落成式)

令和1年11月 ・園歌「にじのかけはし」制定

令和4年4月1日 ・利用定員を85名に変更(1号15名/2号36名/3号34名)に変更

令和5年4月1日 ・利用定員を75名に変更(1号15名/2号28名/3号32名)に変更

##### (1) 事業実績の概要

「遊びを通して様々なことを学び、生きる力を身につけていく」・「健康で心豊かな子ども」・「感性豊かな子ども」・「思いやりのある優しいこども」・「自分で考え、進んで行動できるこども」を教育保育目標として、子どもの主体性を尊重し、異年齢の関わりを大切にすることを実践した。

コロナ禍もあって、当園の特色の一つであった異年齢のあそびが見られなくなったことから、委員会や園内研修、外部講師による勉強会、公開保育等を通して『子どもの主体性』と『異年齢保育』について検討を重ねてきた。未満児では、朝のおやつを個々の子どもの生活や遊びに合わせて食べたい子から提供するようにした。以上児(3.4.5歳児クラス)では、2つの異年齢グループをつくり、“朝の会(サークルタイム)”を行い、そこで子どもが遊びを選択して友達(同年齢、異年齢問わず)と存分に楽しめるように環境を設定することを心掛けた。遊んだ後は、お腹の空いた子どもからランチホールで食事ができるよう配慮した。このような活動では、職員間の共通理解が大切であり、また、同年齢での活動や行事などで異年齢活動が中断する時期もあったことから、今後は、一層日常的に自然なかかわりができるように取り組んでいきたい。

また、保育参加・参観の機会や行事の参加・参観、懇談会も回数を増やし、保護者に園での子どもの様子を見ていただいたり、園だよりやクラスだより等も利用して、『主体性を尊重した教育保育』や『異年齢保育』についてお知らせしたりしたことで、保護者アンケート結果より、園での取り組みが、保護者に理解していただけているように感じている。

当園では地域の方の協力が多々あり、食育では、田植え体験と稲刈り見学、畑で野菜を育てて、収穫しクッキング、梅干しや味噌づくり、焼き芋、鏡餅づくりなど子どもにとって貴重な経験をさせていただき大変ありがたい。

1月の能登半島地震では、園内の壁に亀裂が入り修繕が必要であった。職員で地震時の対策を改めて見直し、改善策を話し合ったり必要な認識も得られた。今後も、いろんな災害を想定した避難訓練を行い、緊急時の対応力を高めていきたい。

子育て支援では、参加人数を4組までとし、園庭開放やお部屋でのあそび、保護者同士の情報交換も行き、参加した親子から喜ばれた。子育て支援情報誌は毎月各町内で回覧し、情報提供をした。

##### (2) 月別在園児童数

中海		利用定員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
3号認定	0歳児	8	2	4	6	7	9	10	10	11	11	11	11	11	103
	1歳児	11	9	9	10	11	11	11	11	11	10	11	11	11	126
	2歳児	13	11	11	10	10	10	9	9	9	8	8	8	8	111
2号認定	3歳児	9	5	5	5	6	6	6	7	7	7	6	6	6	72
	4歳児	9	9	10	10	10	10	10	10	10	11	11	11	11	123
	5歳児	10	11	12	13	13	13	13	12	12	12	12	12	13	148
1号認定	満3歳児	0	0	1	2	2	2	3	3	3	4	4	4	5	33
	3歳児	5	5	5	5	5	5	4	3	3	3	3	3	3	47
	4歳児	5	4	3	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2	33
	5歳児	5	6	6	5	5	5	5	6	6	6	6	6	5	67
		75	62	66	69	72	74	74	74	75	74	74	74	75	863

##### (3) 特別保育事業実績数

事業(件数)	体調不良児保育	子育て支援「園開放」	延長保育	一時預かり
令和4年度	54	9組	371	55
令和5年度	80	87組	162	80

## 5. 幼保連携型認定こども園 蓮代寺こども園の経営

平成30年4月1日・小松市立保育所民営化事業を受け直接経営開始。同時に幼保連携型認定こども園に移行

認可定員 120 名/利用定員 120 名(1号 15 名/2号 60 名/3号 45 名) 施設名称を「蓮代寺こども園」とする

令和3年3月18日・新園舎完成(同年5月1日、落成式)

令和3年4月1日・利用定員を105名に変更(内訳は1号15名/2号45名/3号45名)

令和4年4月1日・利用定員を95名に変更(内訳は1号15名/2号38名/3号42名)

令和5年7月・スマイル農園(園庭東側に隣接した土地を購入)完成

### (1) 事業実績の概要

【教育・保育、保健衛生、食育】 教育・保育方針 “三つのゼン” をもとに、安心できる環境の中で子どもの育ちと学びを支える主体的な遊びを目指し、子ども一人一人の発達や個性に合わせて関わることや保育者自身が子どもと共に遊びを楽しみ、対話し、振り返りながら関わる中で専門性の向上を図ることに努めた。また園内研修での職員の対話を重視した。

コロナ5類引き下げ後も、市のモニタリング等の情報収集を図りながら子どもの安全を最優先に考えて対応した。生活面では手洗いやうがい、健康観察の継続を行ったことで、特に以上児においては、登園後での生活習慣の1つとなった。オープンエリアの特性を生かしながら、登園後より各クラスを行き来して好きな遊びを自ら選択し主体的に遊びを行い異年齢児の交流が活発になってきた。

運動会は二部制で開催し、これまで参観や交流を控えていただいていた多くの両祖父母にもゆったりと子どもたちの姿を見ていただくことができた。また、7月に完成したスマイル農園では、2歳児から年長児が野菜の栽培や収穫を通して祖父母と触れ合う活動にたくさんの参加がみられた。農園の田んぼでは、地元生産組合のご理解と米づくりをされている祖父母の方から指導や助言を受けながら、初めて米作りを行った。田んぼや蓮池を始め農園には虫や水中の小さな生き物が集まり、子どもたちの自然への興味関心や学びへとつながった。

様々な食育活動は給食担当者と保育者との連携で一層充実し、子どもたちの食に対する楽しみと意欲に繋げることができた。アレルギー児の誤食や誤配達など生じないよう細心の注意を払い対応を行った。

【子育て支援、地域との連携等】 子育て支援は、園庭に限っていた親子の遊び場所を室内でも再開し、利用者が増加した。小学校との連携は、小学校教諭の園見学を昨年度に引き続き実施し、日々の生活や遊びを通じた学びを知っていただく機会となり意見交換により相互理解を深めた。また、年長児は、学校見学や1年生との交流会を通して就学への期待が膨らんでいた。地域との連携では、民生委員を中心とした方々と定期的に会合を持ち、地域のニーズを把握しつつ、高齢者の買い物バス支援を毎週1回行い好評を得た。また、地域情報紙「スマイル」を年4回、「環境だより」を年3回発行し、各町内に回覧し、園の取り組みを知っていただくよう努めた。

これまでの福祉事業に関わるサービスの見直しと今後の更なる質の向上に向け、福祉サービス第三者評価を受審。

### (2) 月別在園児童数

蓮代寺		利用定員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
3号 認定	0歳児	10	2	3	5	5	7	8	10	10	10	11	11	11	93
	1歳児	15	14	14	14	16	16	16	16	16	16	16	16	16	186
	2歳児	17	16	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	181
2号 認定	3歳児	12	12	12	11	12	12	12	11	11	11	11	11	11	137
	4歳児	13	15	15	14	15	15	15	14	14	14	14	14	14	173
	5歳児	13	12	12	12	12	12	12	13	13	13	13	13	13	150
1号 認定	満3歳児	0	0	0	1	0	0	0	1	1	1	1	1	1	7
	3歳児	5	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
	4歳児	5	4	4	5	4	4	4	5	5	5	5	5	5	55
	5歳児	5	8	8	8	8	8	9	8	8	8	8	8	8	97
		95	85	85	87	89	91	93	95	95	95	96	96	96	1,103

### (3) 特別保育事業実績数

事業(件数)	体調不良児保育	子育て支援「園開放」	延長保育	一時預かり
令和4年度	152	4組	228	54
令和5年度	115	39組	448	50

## 6. 幼保連携型認定こども園 大和こども園分園やざき乳児保育園の経営

令和3年4月1日 大和こども園の分園として新規開設(定員 29 名)

令和5年4月1日 ・利用定員を 20 名に変更

### (1) 事業実績の概要

#### ●教育保育事業

教育・保育方針の『三つのゼン』に基づき、「心身ともに健やかな子ども」「豊かな感性をもった子ども」「心やさしく思いやりのある子ども」を教育・保育目標として日々の活動をすすめた。0 歳児クラスは担当制を取り入れ、子ども一人一人の思いに寄り添い、温かく応答的な関わりを通じて、きめ細やかな保育の実践を心がけた。1、2 歳児クラスは保育室、廊下、プレイルームをオープンにしたり、天気の良い日は木場潟公園に出かけたりして、子どもの発達や興味にあわせて、子どもが主体的に環境と関わって活動し、充実感や満足感を味わうことができるよう努めた。

また、保育者と給食職員が協力しながら、食材に触れたり、から弁当の日を設けて園庭や保育室でお弁当を食べたりして子ども達が食に興味を持てるよう様々な食育に取り組んだ。

新型コロナウイルス感染症が 5 類に移行し、保育参観に加え親子で遊ぼう、懇談会の保護者参加型の行事を開催し、保護者とのコミュニケーションを図ると共に、保護者同士の情報交換の機会を設けた。クラスだより、ホームページ、動画配信、連絡帳を通して保護者に子ども達の様子を伝えた。

BCP を策定し、毎月、様々な災害を想定した避難訓練を実施し、10月には、震度 5 弱の地震発生と想定し、降園時に順次引き渡し訓練を行った。

SDGs の取り組みとして、天気の良い日に散歩の際に、子ども達と一緒に紙・段ボールを近くのエコステーションに持ち込んだ。

園内の研修では、外部講師を招いて乳幼児の落ち着く音環境について勉強会を行った。カンファレンスを通して自らの保育を振り返り、受容的・応答的な関わりの中で、温かく見守りながらさりげなく支える声かけの大切さを学んだ。今後も、職員間で意見交換をし、子どもの育ちの理解に努め、教育・保育の専門性の向上に努めていきたい。

#### ●子育て支援事業

地域に向けた子育て支援事業「あっぷっぷ」を週 2 回開催し、季節の歌を歌ったり、大型絵本の読み聞かせ、親子ふれあい遊び、楽器遊び等を実施し、少人数のゆったりとした環境で、親子で安心して集える場を提供し、地域の親子の育ちを見守り支援してきた。利用者から離乳食等の栄養相談があった際は、給食職員が相談に応じると共に、2 か月に 1 回、離乳食試食会を設け、連携を図った。

#### ●地域との連携

地域の方には、毎月の園だより、年 2 回発行の地域情報誌「ありんこ」を回覧して子どもたちの遊びの様子や SDGs の取り組みについて情報発信を行った。

#### ●その他

職員配置を工夫してノンコタクトタイムを取得し、業務の効率化を図った。

### (2) 月別在園児童数

やざき		利用定員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
3号 認定	0歳児	6	2	4	5	6	7	7	8	9	9	9	9	9	84
	1歳児	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	108
	2歳児	5	5	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	50
		20	16	18	18	19	20	20	21	22	22	22	22	22	242

### (3) 特別保育事業実績数

事業(件数)	病児(体調不良児)保育	地域子育て支援拠点	延長保育	一時預かり
令和4年度	49	308 組	55	81
令和5年度	35	425 組	84	48



## 7. 芦城児童クラブ 1・芦城児童クラブ 2 の経営

平成 17 年 4 月 1 日・芦城小学校平成集義室にて開設

平成 22 年 4 月 1 日・「第一」「第二」に分割運営開始

平成 27 年 4 月 1 日・「子ども子育て新制度」施行により小学 6 年生までを事業対象にする。このため定員変更

(第一芦城っ子クラブ定員 45 名/第二芦城っ子クラブ定員 45 名)

平成 27 年 6 月 1 日・小松市意向により施設名を「芦城児童クラブ 1」「芦城児童クラブ 2」に変更

### (1) 事業実績の概要

令和 5 年度は、芦城児童クラブ 1・2 の合計の登録児童数は 146 名となり、12 名の支援員が【子どもたちの自己肯定感を育む】という施設の理念のもと、日々の保育にあたった。

新型コロナウイルス感染症の分類が変更になり、制限が緩和されたが、引き続き感染症対策を施しながら、子どもたちが安全かつ快適に過ごせる環境整備に努めた。これにより、子どもたちが自由に遊ぶ場が増え、異学年間での交流も活発になり、子どもたちがより自主的に活動し、互いに協力する姿勢を育てることができた。

児童クラブの活動では、これまでコロナ感染症の規制により実施できなかった様々な行事を開催することが出来た。夏休みには、バス遠足、小松市の児童クラブが集う夏の集いへの参加、学校の先生を招いた特別な行事等を行い、子どもたちに多様な学びの機会を与えることができた。また、親子レクリエーションや祖父母が参加する新春旗源平大会など、世代間交流を促進する行事を充実させ、家族間の絆を深めると共に地域社会との深い結びつきを築くことができた。

保護者アンケートでは、「子どもが様々な遊びや体験を通じて豊かな時間を過ごしている」との肯定的な意見が多数寄せられた。これらの声を基に、今後も子どもたちが楽しく充実した時間を過ごせるよう、さらなる取り組みを継続していく予定である。

しかしながら、年々、児童クラブの需要が高まり、利用希望児童数が増加する一方で、支援員の不足や高齢化といった問題が浮き彫りとなっている。このような状況に対処するために、無理、無駄をなくした日常業務の効率化、情報の共有に努め、質の高いサービス提供を目指したが、今後は色々と考えなくてはならない課題だと思っている。

令和 5 年度は、芦城児童クラブにとって、様々な挑戦と成果があったが、今後も子どもたちの成長と発達を支援し、地域社会と連携していこうと思っている。

### (2) 月別登録在所児童数

開設日数	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計			
平日	17		20		22		13		1		20		21		20		16		17		19		15		201			
土曜日	3		4		4		5		4		4		4		4		4		4		4		4		48			
その他	3		0		0		7		18		0		0		0		4		2		0		5		39			
合計	23		24		26		25		23		24		25		24		24		23		23		24		288			
児童クラブ	一	二	一	二	一	二	一	二	一	二	一	二	一	二	一	二	一	二	一	二	一	二	一	二	一	二		
児童数	1年生	15	15	14	16	14	17	16	18	17	16	15	17	17	16	17	15	18	16	16	16	15	14	17	16	191	192	
	2年生	15	17	17	16	16	15	17	16	16	15	15	16	14	15	13	14	14	16	14	15	12	14	13	15	176	184	
	3年生	14	10	12	8	13	9	14	11	14	10	13	7	13	7	12	7	13	8	12	7	12	7	13	8	155	99	
	4年生	3	2	1	2	1	2	3	2	4	1	0	1	0	1	0	1	1	1	1	1	0	1	1	1	15	16	
	5年生	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	6年生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	47	45	44	42	44	43	50	47	51	42	43	41	44	39	42	37	46	41	43	39	39	36	44	40	537	492	
うち加配児童	3	3	3	3	3	3	4	3	4	3	4	3	4	3	4	3	4	3	4	3	4	3	4	3	45	36		

## 8.蓮代寺児童クラブの経営

平成 31 年 4 月 1 日・「蓮代寺児童クラブ」を受託運営開始(定員 25 名)

※指定管理者/平成 31 年 4 月 1 日～令和 5 年 3 月 31 日の 5 年間

### (1)事業実績の概要

令和 5 年度は登録児童が 36 名、支援員 5 名が「子どもたちの自己肯定感を育むために、無条件に愛される体験、褒められるという体験、共感される体験、感謝される体験、達成感を得られる体験を」の施設の理念のもと、保育にあたった。また保護者や子どもたちとの信頼関係の構築に力を入れて保育にあたった。

「環境の整備」として引き続き、遊具などの消毒をこまめに行い、室内の清掃も徹底して行い、避難訓練の中で子どもたちに感染症について話し、自分で出来る感染症予防として手洗いの大切さを学び、おやつや食事前の手洗いを徹底させた。また、限られたこの室内スペースで、子どもたちがいかに安心・安全に過ごせるかを考え、学校の空きスペースを有効活用し、収納を確保できたことで多少ではあるが室内スペースを広げることができた。

「児童の健全育成」として、季節に応じた行事を計画し、子どもたちの参加型の行事ではなく主催型の行事に変え、子どもたちの意見やアイデアを取り入れ、司会進行を任せた。

「コミュニケーション力を高める」取組として、子どもたち自ら内容を決めた行事の司会進行を通して、人に伝える力、聞く力を養うことができた。

「支援員の研鑽、研修」では研修会に積極的に参加し、スキルアップを図った。今年度も ZOOM を活用した研修会が多く、コロナ禍でも多くの研修に参加することが出来た。また、支援員同士、些細なことでも報告しあい、全員が同じ目的をもって保育にあたることが出来た。

「保護者との連携」として、コドモンを導入し、保護者からの出欠の連絡や、クラブからのお便りの配付に活用した。保護者とは、お迎え時にクラブでの様子を話し、保護者との連携を図った。

「学校・関係機関との連携」として、学校とは打ち合わせ会や担任の先生との情報交換会の他にこまめに情報交換を行い情報の共有を図った。また、学校の授業参観に参加し、学校での子どもたちの様子を見たり、担任の先生にクラブでの子どもたちの様子を見てもらい、学校と共に子どもたちの成長を見守った。3 月には蓮代寺こども園より、新 1 年生のこども園での話を聞き、スムーズな受け入れを行うことが出来た。

### (2)月別登録在所児数

開設日数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
平日	17	20	22	13	1	20	20	20	16	17	19	15	200	
土曜日	2	3	4	3	2	2	2	2	0	4	3	0	27	
その他	3	0	0	7	18	0	2	0	4	2	0	5	41	
合計	22	23	26	23	21	22	24	22	20	23	22	20	268	
児童数	1年生	10	10	10	11	10	11	11	11	10	9	10	10	123
	2年生	11	11	11	11	12	9	9	9	8	8	8	8	115
	3年生	6	6	5	5	7	3	3	3	3	3	3	3	50
	4年生	3	3	3	2	3	2	2	2	1	2	2	1	26
	5年生	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	4
	6年生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	30	30	29	29	32	25	25	25	23	23	24	23	318
うち加配児童	3	3	3	3	4	3	3	3	2	3	3	3	36	

## 9.大和ぬくもり大学の経営

昭和 19 年 6 月 15 日設立 昭和 33 年 4 月 1 日社会福祉事業法許可

平成 4 年 7 月 1 日「大和ぬくもり大学」開校

平成 9 年 10 月 小松市芦城センターに移転

令和 1 年 10 月～令和 2 年 6 月 小松市芦城センターリニューアル工事・・・全講座基本休講

令和 2 年 6 月 小松市芦城センターでの事業再開(新型コロナウイルス感染禍での再開となった)

### (1)事業実績の概要

大和善隣館は、創設理念を原点として、現在に継承されている。平成 9 年 10 月に芦城センターが建設されると法人本部事務局と共に移転し、小松市が設置した小松市中央老人福祉センターの事業運営を受託し、現在は主として高齢者福祉事業として「大和ぬくもり大学」を開設し生涯学習講座を実施している。

#### ●大和ぬくもり大学

福祉(ささえあい)と教育(まなびあい)を一体としてとらえ、これを統合的、有機的に運用するために、平成 4 年 7 月 1 日に開講した。小松市内在住の 55 歳以上の方を対象に、令和 6 年 3 月末現在、14 講座 3 クラブを開講し、開始状況は次のとおりであった。

令和 5 年度について、5 月にも、新型コロナウイルス感染対策が緩和されたが、感染時のリスクが高い高齢者事業であるため、休講等の措置を執りながら事業を行った。対前年度、2 講座(華道・陶芸)が利用者減少により閉講もあり、開催回数▲42 回・延べ利用者数▲557 名となった。

開催会場の小松市芦城センターの空室状況を踏まえながら、アフターコロナを見据えての新講座・新クラブ開設に取り組んでいきたい。

※令和 5 年 9 月をもって、「陶芸講座」が閉講となった。

### 【大和ぬくもり大学年間利用者延べ人数】

講座名	回数		利用人数		講座名	回数		利用人数	
	令和4年度	令和5年度	令和4年度	令和5年度		令和4年度	令和5年度	令和4年度	令和5年度
料理	20	15	110	62	水彩画	20	19	80	56
社交ダンス	85	59	791	377	ちいさな水彩画	21	21	95	111
俳句	12	11	76	51	ぬくもりヨガ	22	23	141	129
歴史	12	10	99	84	陶芸	16	10	71	56
茶道	17	23	147	195	リズムダンス	68	97	473	647
華道	22		93		加賀水引	11	12	143	127
書道	24	23	250	244	合唱クラブ	33	28	776	619
詩吟	46	41	257	227	囲碁クラブ	48	48	364	396
歌謡舞踊	36	36	186	248	歌謡曲クラブ	43	44	672	684
パソコン	48	42	341	295	合計	604	562	5,165	4,608

### 【大和ぬくもり大学 令和 5 年度実施行事】

・令和 6 年 3 月 30 日(土) 第 24 回卒業証書授与式を開催

※平成 30 年 10 月以来、6 年ぶりの開催

### (2)相談事業・・・利用者 0 名

相談はなかった。

令和 5 年度事業報告は以上である。

社会福祉法人大和善隣館

理事長 広川 保



役員名簿

令和6年3月31日

役員	氏名
理事	荒井 早苗
〃	池田 巧
〃	片桐 真二
〃	田中 琴乃
〃	堂前 弘美
〃	広川 保
〃	森 都
監事	堅田 光恵
〃	嘉藤 恵子
〃	高田 眞次
〃	森 和美

役員	氏名
評議員	池田 辰雄
〃	遠州 賢
〃	柿本 佳美
〃	北川 潔
〃	劔崎 隆
〃	出口 春一
〃	中田 眞知子
〃	中山 美保子
〃	西田 頼子
〃	山本 敏明

※五十音順